

Ⅳ めぐるシティカレッジ

1 概要

区民の学習活動のニーズが多様化する中で、都立大学が目黒区から八王子市に移転したのを契機に、区民に新たな学習機会を提供できるシステムを構築していこうと、目黒区、都立大学、都立大学附属高校、東京都教育庁の四者が協力して、区民向けの講座「めぐるシティカレッジ」を平成7年に開設しました。

「めぐるシティカレッジ」は、区民の自発的学習意欲に基づく自己実現を支援するための学習機会を提供しようとするものです。単位や資格の取得を目的とするものではなく、生涯学習社会形成の一翼として区民の学習ニーズに対応する、質の高い学習の提供を目指しています。各分野の研究者を講師に招き、学ぶ意欲にあふれた受講生により、毎回熱意のこもった講座が展開されています。

(開設年度：平成7年度)

2 運営

現在は、任意団体「めぐるシティカレッジ振興会」が運営に当たり、目黒区教育委員会事務局に事務局を置いています。

3 講座内容

令和7年度実施

次のとおり、4講座を企画し、目黒区中央町社会教育館を会場として実施しました。

(単位：人)

講 座		主な内容等	定員	応募者数	受講者数
1	目黒学パート31 ～歌から見る、時代と世界そして地域～	うたは地域、時代背景、人を関わらせて、成長する。「歌から見る、時代と地域」と題する講座を開講し、目黒学30年を振り返る内容も込める。 令和7年4月～令和8年1月（全14回）	50	20	20
2	いま地球で何が起きているのか パート2	人新世という時代名称が提唱されている今、我々は地球環境・情報化社会の変化の只中にある。前年度からの本講座をパート2として継続し、いのちや社会に関わるテーマにも焦点を当てる。 令和7年4月～令和8年1月（全14回）	50	42	42
3	「時代の変化」とは何か？ ～変わるもの・変わらぬもの～	各時代を暮らした人々は何を考え、どのようなしがらみの中で生きていたのだろうか？それらを大局的に見ることで新しい歴史の捉え方を目指す。 令和7年4月～令和8年1月（全14回）	50	40	40
4	見て回る 江戸・東京	本講座は、講義と現地実習の組合せで構成し、江戸時代における庶民の生活と文化及び今の東京の姿を知ることには焦点をあてる。 令和7年4月～令和8年1月（全14回）	50	70	70
合 計			200	172	172